

2016年5月24日

報道関係各位

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
株式会社博報堂



「生活者データ・マネジメントプラットフォーム」の機能を拡張、 マーケティング課題解決に寄与する進化したソリューション「Querida 2.0」を提供開始

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ（本社：東京都港区、社長：大森壽郎）と株式会社博報堂（本社：東京都港区、社長：戸田裕一）の協働の取り組みとして“生活者データ・ドリブン”マーケティング対応力強化を担う「DATA WINGS（データウィングス）」※1（以下 DATA WINGS）は、これまで構築してきた「生活者データ・マネジメントプラットフォーム」の機能を拡張し、広告主のマーケティング課題の解決により効果的に寄与するソリューションとして「Querida 2.0」の提供を開始します。

「生活者データ・マネジメントプラットフォーム」とは、これまで博報堂DYグループが蓄積してきた独自の生活者データに、デジタルテクノロジーの進化によって入手可能となった「リアルタイム・365日の生活者の情報行動や購買行動のデータ」「メディアやコンテンツなどの接触・嗜好データ」と「先端テクノロジー」を掛け合わせた、あらゆるマーケティング活動を計画・実行・管理する上での基盤として開発しているものです。

2014年12月より「生活者データ・マネジメントプラットフォーム」を活用したサービスの一つとして、生活者についてのパネル調査データとWeb閲覧等のオンラインアクチュアルデータを統合、分析し、広告主にとっての新規見込み客を発見する「Querida Insight（クエリダインサイト）」と、そこに対して的確な広告配信を可能にする「Querida Planning（クエリダプランニング）」の2つのサービスを提供しています。これまでに本サービスをご利用いただいている企業はすでに100社を超えています。

今回提供を開始する「Querida 2.0」では、オンラインアクチュアルデータに加え、生活者意識についての大規模調査データのリフレッシュと、新たに購買データや、テレビ番組の視聴データを含むマスメディア接触データの追加を行い、これまでのQueridaから機能を大幅に拡張しました。生活者像をより深く、精緻に捉えることが可能になるとともに、数千万ID規模の広告配信が可能なデータベースにより、マーケティング戦略に則ったターゲットに対してよりの確に広告を配信できるようになりました。

複数の異なるデータソースの活用にあたっては、博報堂DYグループ独自の「k-統計化&データフュージョン技術」※2を駆使し、個人情報を保護しつつ、データを結合し活用（特許取得済）、精度を担保した状態で複数のデータを掛け合わせる事が可能になっています。

博報堂DYグループにとって、データドリブンマーケティング領域は次世代広告ビジネスを担う重要戦略領域です。DATA WINGSはこれからもこのような取り組みを通じて、「生活者データ・マネジメントプラットフォーム」を活用したサービスの充実を継続的に実施してまいります。

※1 DATA WINGS (データウィングス)

博報堂DYグループ内の“生活者データ・ドリブン”マーケティング対応力強化の中核を担う組織である、博報堂「生活者データマネジメントプラットフォーム局」「データドリブンマーケティング局」「マーケティングシステムコンサルティング局」、博報堂DYメディアパートナーズ「データドリブンメディアマーケティングセンター」の総称。

※2 k-統計化&データフュージョン技術

個人情報を保護しつつ複数のデータを結合し活用するため、博報堂DYホールディングス マーケティング・テクノロジー・センターが開発した技術(特許取得済)。「k-統計化」は、最小サイズがk以上*になるようクラスタ化を行った上で、元データの値をクラスタの統計量で置き換える手法。結合対象のデータセットそれぞれに対してこの「k-統計化」を行い、得られたクラスタ同士を特徴が似たデータを統計的に結びつける「データフュージョン」で融合させることで、元データの特徴をある程度保持することと、名寄せを行わずにデータのバラエティを増やすことの両立を可能としています。

*クラスタの最小サイズをk以上に保つのに加え、クラスタ内の値の多様性をある程度以上になるようにクラスタを作成することも可能です。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

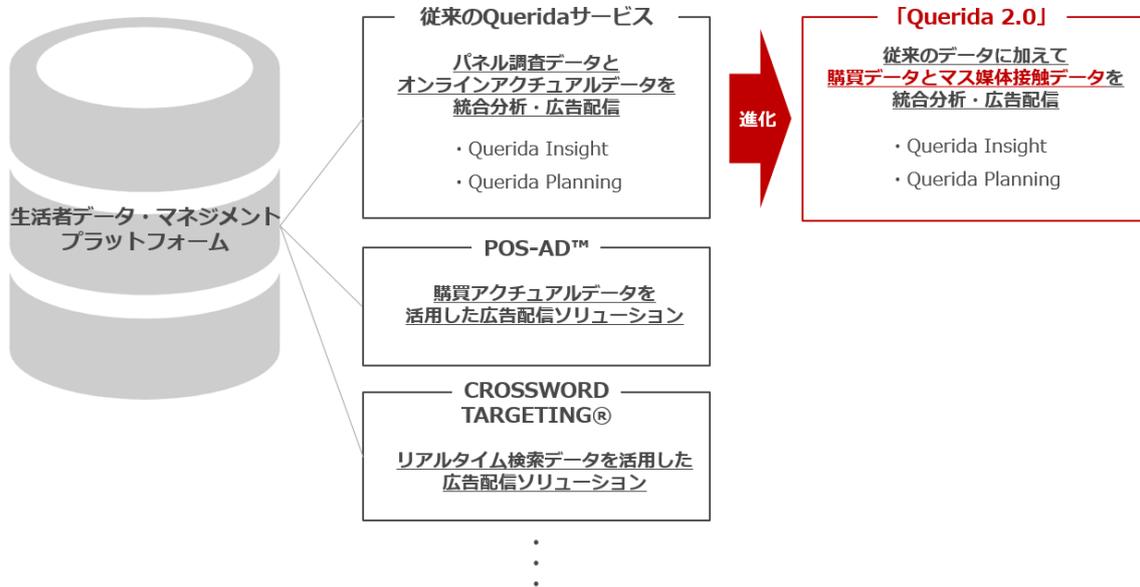
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
株式会社博報堂

広報室 山崎・三石 03-6441-9347
広報室 藤井 03-6441-6161

■ サービス概要 ■

「生活者データ・マネジメントプラットフォーム」を活用したサービス

「生活者データ・マネジメントプラットフォーム」を活用したサービスとして、これまで「Querida Insight/Querida Planning」「POS-AD™」「CROSSWORD TARGETING®」があります。今回 100 社以上のご利用実績がある Querida シリーズについて、利用可能なデータソースを更新し、大幅に機能を拡充しました。



■ 「Querida 2.0」の提供イメージ ■

すでに提供していたオンラインアクチュアルデータに加え、生活者意識についての大規模調査データのリフレッシュと、新たに購買データや、テレビ番組の視聴データを含むマスメディア接触データの追加を行い、生活者像をより深く、高精度に捉えることができるようになりました。また、狙ったターゲットに対してオンライン上での確に広告を配信することができ、さらにマスメディア接触データからオフラインのメディアプランニングも一気通貫して行うことが可能です。

